

異文化コミュニケーションの視点を通じた英語教育の在り方と課題 —CEFR、CLIL、協同学習の理念と実践を中心に—

2020年度において、小学校から順次実施される次期学習指導要領、「話す」ことを重視した発信型英語能力の評価を含む大学入学共通テスト(民間英語試験を含む)の導入等により、日本の英語教育は大きな転換期を迎えています。このような状況において、異文化コミュニケーションの視点、CEFR・CLIL・協同学習の理論と実践を取り入れた英語教育が、今後の方向性として提起されています。

本セミナーでは、鳥飼玖美子氏に、英語教育改革の変遷・現状とともに、欧州評議会が提唱する複言語主義とCEFRの理念及び文化とコミュニケーションの視座に基づいた、話すことを中心とした英語教育の在り方について基調講演を頂きます。また、武上富美氏には、中等教育での協同学習による主体性と思考力の向上及び理論と実践を踏まえた教師自身の指導観の認知変化に関する具体例の考察とともに、CLILが異文化理解の深化に繋がることについてご講演頂きます。参加者の方々と共に、転換期の英語教育の在り方と課題について考える場となれば幸いです。

日時 2019年 10月5日(土)
13:00~17:00(12:30 受付開始)

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス
文法学部本館2階 A1教室

※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。



【プログラム】

基調講演「異文化コミュニケーションの視点から日本の英語教育を考える」

鳥飼玖美子氏 (立教大学 名誉教授)

講演「中等教育での CLIL による実践可能な英語指導

—学習者主体の学習理論から異文化理解へ通じる教育実践へ—

武上富美氏 (熊本県立大学文学部 講師)

質疑応答・討議

参加費無料

【お申し込み・お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学教育部 社会人大学院教育支援センター
Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:scsien@kumamoto-u.ac.jp

※できるだけ、前日までに電話/FAX又はe-mailでお申し込みをお願い致します。

氏名(ふりがな)・所属先とともに、「英語教育セミナー参加希望」と明記してください。

詳細は「社会文化科学教育部ホームページ」をご覧ください。

<http://www.gsscs.kumamoto-u.ac.jp>